

奈っ自慢子

子どもたちに身に付けさせたい力 文責 宮本金一朗

主体性：^{しゆたいせい} き気づく→ か考える→ う動く

人前力：^{ひとまえりよく} 自ら表現・他者理解・協働

たい力：^{りよく} 体力・耐力・態力 6月29日(木)

校訓
教育目標

なせばなる～健康でたくましく他者と協力して自分の可能性へ挑戦する生徒を育成する～
夢・実現～ふるさとを愛し、皆と協力して夢の実現に向かって努力する「奈っ自慢子」の育成を通して～

生徒総会 (中学校)

6月9日(金)、生徒総会がありました。今年度の生徒総会の努力目標は「挑(いどむ)」です。具体的に次の3点ができるように取り組んでいくことが全校生徒で確認されました。

- 1 みんなと笑い合う時間を大切にして過ごすことができる。
- 2 思いやりを持って進んで行動することができる。
- 3 自分が思い描く希望を持つことができる。

また、今回、髪型や服装について、「なるほどな」とうなずくような意見が出されました。例えば、髪型では、「現在本校では、男子と女子の髪型の基準をそれぞれ別に定めているが、男女の基準を分ける必要があるのか、ジェンダーの観点からも同じにしてはどうか」という意見でした。また、服装では、「白色の靴下だと洗濯してもとれないような黒ずみが目立つので、黒色のものを認めてほしい」という意見でした。

生徒総会で出された意見は、保護者の方にも意見を聞きながら、今後検討していきたいと思えます。学級懇談会等でもぜひ話題にしていただければと思えます。



五島市中総体陸上競技大会 (中学校)

6月11日(日)、五島市中総体陸上競技大会が行われました。球技・武道大会が終わってからの2週間、ふだん練習していない競技ですが、みんな意欲的に取り組み、自分の力を出し切ることができました。

上位入賞者は次のとおりです。

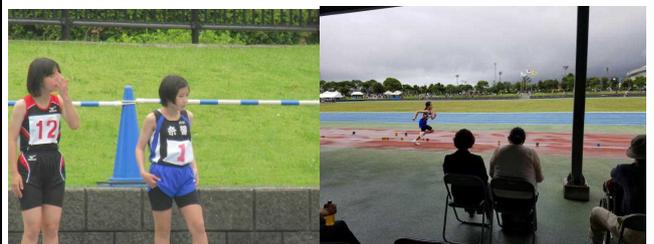
○男子の部

- | | | |
|------------|-----|--|
| 1年100m | 第5位 | 岩村晴陽 |
| 低学年4×100mR | 第4位 | 【奈留中学校】
北野裕太郎
岩村晴陽
川口勇歩
松村慶汰 |



○女子の部

- | | | |
|---------|-----|-------|
| 1年800m | 第6位 | 川口枝愛 |
| 低学年80mH | 第6位 | 葛島湖都羽 |
| 共通走幅跳 | 第3位 | 葛島湖都羽 |



かるた・百人一首大会

【スローガン】

「和にふれて
熱く戦い
つかみとれ
チームでめざす
笑顔の勝利」

6月14日（水）、小中高合同かるた・百人一首大会を行いました。前期（小学1年生から小学4年生）は、かるた大会、中期と後期（小学5年生から高校3年生）は、百人一首大会を行いました。



かるた大会の一つのかるたは、五島弁かるたでした。私は五島久賀島の出身ですが、いくつかまったく知らない言葉がありました。前期の子供たちにとっては、聞いたこともつかったこともない言葉もきっとたくさんあったと思います。標準語を話すことができるのはもちろん必要なことですが、ふるさとのあたたかい言葉もぜひ後世に残していきたいと思います。

百人一首大会は、実力が拮抗し、各グループでの予選も熱気に包まれたすばらしい戦いばかりでした。昨年の大会では中学生が優勝し、今年も優勝しようと意気込んでいたのですが、さすがは高校生です。今回は高校生のチームが優勝を勝ち取りました。

小中高の児童生徒が全員集まり、日本古来の文化を身近に感じながら、親睦を深めることができたすばらしい大会となりました。



平和講話（小学校）

6月19日（月）、高校生のときに平和大使を務められた由利遥さんを講師に招き、平和についての講話をしていただきました。幼稚園の頃に家族で広島旅行に行ったときに両親から買ってもらった「おりづるのたび」という絵本に出会ったことで、平和について深く考えるようになったそうです。



今回は、

- 1 平和大使になったきっかけ
 - 2 平和大使の活動内容
 - 3 平和な世界の実現のために私たちができること
- の3点について、クイズ等もしていただきながら、話をさせていただきました！！

由利さんは、最後に「微力だけど無力ではない」という言葉を子供たちに贈ってくれました。平和のために、信念を持って活動してきた方の重い言葉です。私たちも「平和のために自分にできること」を考え、行動していきたいと思います。

奈っ自慢子の心を見つめる教育週間

6月27日（火）から7月1日（土）は、奈っ自慢子の心を見つめる教育週間です。

今から20年前の7月1日に長崎市で、翌年の19年前の6月1日に佐世保市で、それぞれ小中学生による殺人事件が起こりました。教育週間は、そういう過去のあつてはならない事件を絶対起こさないという思いから、毎年この時期に設定し、命について、みんなで考えることにしています。最近、戦争や凶悪な殺人事件、自殺など、命を軽視しているような事件がたくさん起こっており、この先、どんな世の中になるのか不安は増すばかりです。1日には、道徳の公開授業を予定しています。子供たちが、命について考え、自分の心を見つめ直す機会となればと考えています。御参観よろしくお願ひします。